

トイレトラック導入に関する寄付を11月末まで受け付けています

トイレトラック導入に関する寄付は、多くの方のご賛同をいただき、寄付額は増えております。
今回の寄付に関しては、ふるさと納税型クラウドファンディングのほかに、企業版ふるさと納税、一般寄付、ふるさと納税など、さまざまな寄付方法で対応しています。

ふるさと納税の場合

町内在住の個人の方については、ふるさと納税として寄付いただくことで、返礼品はありませんが、税控除が受けられます。

一般寄付の場合

町内に本社のある企業様については、損金算入による税控除が受けられます。

※ご支援いただいた方のお名前を車体に掲載します。

災害時のトイレ問題は避難者だけでなく、被災地の支援に来てくださった方々にとっても重要なことです。

避難所生活において助かった命が再び脅かされないことがないよう、また助けあいの気持ちがより広がっていくように、皆さまの温かいご支援をよろしくお願いします。

問い合わせ先 総務課情報防災係 (32) 3111

トイレトラック導入費 (緊急防災・減災事業債を活用)

2,650万円



寄付の詳細・申し込みは町HPをご確認ください

令和7年分 個人事業者決算等説明会のお知らせ

税務署では、事業をされている個人の方を対象に、決算書の作成方法や作成に当たっての注意点などについて、説明会を次のとおり開催いたします。

説明会で使用する資料は、当日会場で配付し、講師は税務署が依頼した税理士が行います。

また、国税庁では、YouTubeの国税庁動画チャンネル内の再生リスト「記帳・決算のしかた」において、記帳・決算の方法について解説した動画を掲載していますので、ぜひご覧ください。



※各会場先着順とし、定員になり次第締め切りとさせていただきます (事前申込は不要です)。

※各会場とも、駐車場のスペースに限りがあります。

問い合わせ先 佐久税務署 (担当部門：個人課税第一部門) 0267 (67) 3462 (ダイヤルイン)

日 時	●営業・不動産所得関係	
	12月2日(火)	午後2時～4時
	12月8日(月)	午前10時～正午
	2月9日(火)	午後2時～4時
	●農業所得関係	
	12月4日(木)	午後2時～4時
会 場	佐久市佐久平交流センター 第5会議室 (佐久市佐久平駅南4-1)	
対象地区	全市町村	
定 員	各120名	

農業青年クラブ 御代田町浅間クラブ主催

「野沢菜・大根収穫体験祭」開催のお知らせ

御代田町浅間クラブでは本年も「野沢菜・大根収穫体験祭」を開催します。

皆さまに安心して地元の野菜を召し上がっていただけるよう、低農薬で丁寧に育てました。

町内の方のみならず、県外の方も来場され、ご満足いただいております。ご家族、ご友人お誘い合わせの上、ぜひご参加ください。

日 時 11月15日(土) 午前9時から午後3時ごろまで
※雨天決行。ただし、荒天の場合は、翌16日(日)に順延します。

場 所 御代田町大字御代田字朝日3670番2・同3

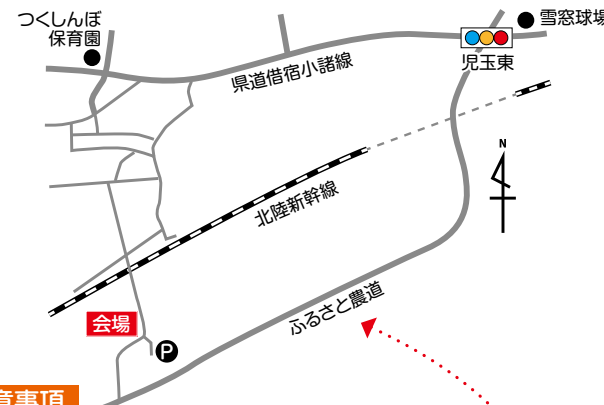
駐車場 会場付近に設営
※標記のない駐車場への駐車はご遠慮ください。

料 金 【野沢菜】◎量り売り 1kgあたり100円
※15kg以上の場合は、採り放題料金にて対応します。
◎採り放題(入場料) 1人あたり1,500円
※小学生以下は、無料
【大 根】◎販売価格 1本あたり100円

注意事項

○会場付近にはトイレがありません。
○汚れてもいい服装、長靴、手袋等でご来場ください。
○収穫用の包丁、鎌等を持参してください。
○持ち帰り用に紐や紙袋、箱等があると便利です。
○周辺の混雑を防ぐため、来場の際には南側(ふるさと農道側)からお越しください。

問い合わせ先 浅間クラブ事務局 (御代田町産業経済課農政係) (32) 3113



>> Vol.48 町長コラム

このコーナーでは毎号、小園町長が町民の皆さんに届けたいメッセージを綴ります。

県内初のトイレトラック導入へご協力を！

本誌10月号で「災害用トイレトラック」の導入に向けた町内外からの寄付のお願いを掲載しました。一部、分かりにくいというお声をいただいたので、あらためてご説明いたします。

私はちょうど30年前の阪神淡路大震災で下宿が全壊しました。避難所になった私の高校ですぐに問題になったのがトイレでした。朝になるたび、グラウンドに用を足した跡が等距離に増えていく…トイレの問題は人間の尊厳の問題なのだと思います。

御代田町では、町内で災害が起きた場合はもちろん、町外で災害が起きた場合にも現場に派遣する、個室トイレ5室を備えたトイレトラックを来年2月に導入します。長野県内にはまだありませんが、全国では既に38自治体で導入されています。昨年1月発生した能登半島地震の避難所等には25自治体が派遣し、なんと延べ145万回利用されました。御代田町が被災したら、全国からトイレトラックが来られます。日ごろは龍神の杜公園の大型遊具の横に設置するなどして使ってもらい、災害への意識を高めていただこうと思っています。

費用約2650万円の財源は「緊急防災・減災事業債」という起債です。返済時の元利金の70%は実質的に国がカバーしてくれますので、町の将来的な実質負担は800万円ほどです。このうち、300万円をご寄付にて集めようというのが先月号のお知らせの趣旨です。

議会の承認をもって、町予算から支出できるようになってはおります。ただ、企業や個人から応援いただけますと、ほかの防災資機材の購入や、養成できる防災士の人数を増やすことに充てられます。1万円以上の寄付者はトラック後方に名前が刻まれます。最低10年間、町民や被災地の皆さんにその名前が認知されるなんてなかなかロマンがあるなと思っています (私は公職選挙法で町への寄付は禁止されていますが…)。寄付による参加意識の高まりでより愛されるトイレトラックとなることも狙いです。

町外企業・個人からのご寄付募集は11月末まで、私のほうで頑張りたいと思います。町民でも、返礼品を受け取らない寄付はふるさと納税制度が利用できるため、小さな負担でご寄付が可能です。企業も損金扱いとなります。ご協力をお待ちしております！



御代田町

「地域おこし協力隊」だより

6月に御代田町に着任してから5カ月が経ちました。活動や暮らしを通じて地域の魅力に触れ、少しずつこの町の一員としての実感が深まっています。

今回は私が感じる御代田町の魅力についてお話ししたいと思います。



小浅間山から見る浅間山

まず、雄大な自然です。休日には登山や撮影に出かけ、四季折々に表情を変える浅間山に心を動かされています。特に秋の彩りは

格別で、趣味の登山をより豊かな時間にしてくれます。

また、人の温かさ御代田の魅力です。イベントや行事での交流は、暮らしの安心感や心地よさに繋がっています。さらに浅間国際フォトフェスティバルをはじめ、芸術文化に触れられる場もあり、多様な出会いが広がっています。

これから訪れる冬。厳しい寒さの中でも雪景色や静けさを楽しむにしながら、御代田の四季や暮らしを映像で発信していきたいと思っています。

情報発信していくので、ぜひフォローしてください！



地域おこし協力隊 Instagram



今野 利彦